

大館市観光交流施設「秋田犬の里」の令和９年度指定管理者の募集に
向けたサウンディング型市場調査結果の公表

令和７年１２月１５日

１．調査の目的

市では、大館市観光交流施設「秋田犬の里」について、令和９年度より指定管理者制度による運営を計画しており、その募集にあたっては、施設の今後の管理運営に関して参入しやすい募集条件や、民間のノウハウがより発揮しやすい仕様内容等としていくため、民間事業者等の皆様から、幅広く、ご意見ご提案をいただくサウンディング調査を実施しました。

２．実施スケジュール

実施要領の公表	令和７年８月２５日
現地見学会の開催	令和７年９月１６日
サウンディングの実施	令和７年１０月１６日、１７日
サウンディング実施結果概要の公表	令和７年１２月１５日

３．サウンディングの参加者

（１）現地見学会参加者 ５社

（２）サウンディング参加者 ４社

４．サウンディング結果の概要（参加者からの意見・提案等）

対話項目	A社
事業者が参入を検討しやすい募集条件の把握	・イベントやコンテンツの提供を重視した条件設定を。
管理・運営に関すること	・休館日の柔軟な設定を可能とし、効率的な運営ができる仕組みが望ましい。 ・必要に応じて使用土地の一部縮小も検討可能としたい。 ・修繕や清掃などの業務委託は、これまでどおり市内業者を優先して発注することが望ましい。 ・経験者採用については、現職員の継続雇用を基本としつつ、「愛嬌があり接客が得意な人材」を増やしていきたい。教育体制の整備も重要と考える。 ・外構は雪対策（融雪設備など）を強化し、冬季も安全で利用しやすい環境整備。 ・東口の出入口を有効活用し、動線の改善を図りたい。 ・道の駅化や地元物産・野菜の販売など、地域連

	<p>携の仕組みを取り入れたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋田犬展示スペースは地域企業の魅力発信を組み合わせたい。 ・地元特産品を使ったカフェデザートなど、食による地域発信を強化したい。
民間ノウハウを活用した事業提案について (ハード面・ソフト面)	<ul style="list-style-type: none"> ・一般来館者や地域団体がイベントで利用できるスペースを整備したい。 ・会議室をデザイン性の高い空間にリニューアルし、付加価値を高めた貸出運営を行いたい。 ・館内の掲示物の見せ方を整理し、全体の印象をスタイリッシュに改善したい。 ・カフェスペースの設置により、近隣店舗との相互回遊を促進したい。 ・クレープなどの軽食店舗を屋内に導入し、季節や天候に左右されない運営を目指す。 ・地域外からも来たくなるレストランづくりを提案したい。 ・2階ベランダの屋内化を検討し、冬季も快適に利用できる空間とする。 ・夜間のライトアップイベントなどで回遊性を高めたい。 ・冬季限定で屋上からシャイニングストリートを望めるカフェイベントなどを実施し、季節観光の魅力を発信したい。
対象施設の効果的・効率的な管理運営について	<ul style="list-style-type: none"> ・来館者データを分析し、来館が少ない日を休館日に設定することで効率的な運営を行いたい。 ・冬季の除雪・融雪対策を強化し、駐車場を閉鎖せずに安全に利用できるようにしたい。
対話項目	B社
事業者が参入を検討しやすい募集条件の把握	<ul style="list-style-type: none"> ・施設運営に関する実績・経験を有する事業者であること。 ・秋田犬(または他の犬)飼育経験者をスタッフとして確保できること。
管理・運営に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者ニーズに対応し、夜間営業可能なように調整。 ・市との情報共有・協議体制を整え、運営状況のモニタリングと改善を継続的に行う。
民間ノウハウを活用した事業提案について (ハード面・ソフト面)	<ul style="list-style-type: none"> ・1社がすべてを担う体制から、専門分野を活かした業務分担を提案。 ・施設有料化、マーケティングによる持続可能な運営。 ・大館市をもっと「犬と暮らしやすい街」にする活動の拠点を「秋田犬の里」とする。

	<ul style="list-style-type: none"> ・秋田犬コンテンツの充実(秋田犬の見学は継続) ・屋上テラスの活用として、ビアガーデンやカフェ営業、スペース貸しなど、観光・交流機能の強化を図る。 ・採算性の面から手こぎトロッコの見直し。 ・駅前立地を活かし駐車場の活用方法を検討。 ・駅なか交流センターとの一体的運営(委託業務) ・観光情報発信業務 ・オリジナルグッズを充実させ持続的な運営を図る。
対象施設の効果的・効率的な管理運営について	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所内連携で事業を広げる=民間が入ることのメリットを活かす。 ・地域おこし協力隊を秋田犬の里スタッフに配置 ・収益化を前提とした仕組みづくり ・自立するための営業活動を妨げない自由度(条例) が必要。
対話項目	C 社
事業者が参入を検討しやすい募集条件の把握	<ul style="list-style-type: none"> ・建物・設備・施設等は全体的に修繕が済んだ状態での引き渡しを求める。 ・冬期間通路・駐車場の除・排雪、玄関前八チ公像付近の排雪は行政がすべき。 ・トロッコ線路内、施設内の草刈り、芝生の維持管理も行政負担とする。 ・施設内設備の補修、工事、交換は、行政が必要に応じ的確に対応してほしい。
管理・運営に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・指定期間は令和 9 年 4 月～令和 14 年 3 月の 5 年間が望ましい。 ・指定管理更新は施設修繕後としていただきたい。 ・休館の考えはない。年末年始も開館したい。 ・貸館利用料金は、目的に応じ柔軟な対応を可能にしたい。 ・突発事項に関しては協議の上で対応。 ・修繕業務は市内事業者を優先できる。 ・施設予約は市優先も可能 ・現職員の雇用も可能。秋田犬関連を中心に、施設管理全般を含めて働いていただきたい。
民間ノウハウを活用した事業提案について (ハード面・ソフト面)	<ul style="list-style-type: none"> ・トロッコ含め線路の活用は、運営を見直し採算が取れるような状態にしたい。 ・芝生広場を専用ドッグランにして、秋田犬が常に居る状態を増やし、館内でも来館者との触れ合いや撮影を可能にしたい。 ・2F テラスを秋田犬専用ドッグランとして開放、有料で階段を昇れば、犬に触れられる施設にでき

	<p>ないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2F テラスは遊具を揃え、幼児・子ども用のあそび場に解放。 ・現在倉庫部分を改装し、休憩のための軽食コーナー、カフェコーナーを設けたい。 ・多目的広場の活用性を探りたい。犬関連が望ましいが様々なイベントを開催。 ・「老犬神社シロと忠犬ハチ公」の展示物を揃え、展示コーナーでミニ博物館実施。 ・市民向け「忠犬ハチ公」に関する読み聞かせの定期開催。 ・大館の風物をテーマにしたフォトコンテストの定期開催・展示。
対象施設の効果的・効率的な管理運営について	<ul style="list-style-type: none"> ・入館料徴収せず有料駐車場化で収益の確保を提案。 ・営業時間は9時～17時を基本に、季節に応じ柔軟に対応したい。 ・来場者の滞在時間を延ばす工夫が必要。
対話項目	D 社
事業者が参入を検討しやすい募集条件の把握	<ul style="list-style-type: none"> ・秋田犬を取り扱うことは施設の特性上、必須と考える。 ・動物取扱業資格（第一種が望ましい）取得のサポート、または外注斡旋等の提供が必要。
管理・運営に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・秋田犬不在日の開館はマイナスイメージに繋がる恐れがある。
民間ノウハウを活用した事業提案について （ハード面・ソフト面）	<ul style="list-style-type: none"> ・秋田犬展示事業は本運営の軸なので、継続は必須。 ・秋田犬ふれあいサービスは来訪者に待望されているが許可のハードルが高い。 ・市内における土産物販が弱いので、エリアと品数を増やす必要がある。 ・市民向けに他市町村物産コーナーを設置。
対象施設の効果的・効率的な管理運営について	<ul style="list-style-type: none"> ・黒字化を目指すなら入場料徴収、第一種動物取扱業は必須。 ・有償サービス化に伴い、クオリティを上げる必要がある。 ・業務の統合による効率化

5．サウンディング結果を踏まえた今後の方針

今回の調査では、指定管理者制度を活用した施設運営に対し、実施する事業内容、参画を高めるための要望等について御提案をいただきました。この結果を踏まえて、公募条件の整理・検討を進めていくこととします。